



あけぼの会便り

平成 27 年 6 月 29 日

NO. 1



新学期からたった二ヶ月ですが、様々な点で園児たちの成長が感じられるのではないのでしょうか。今年から園庭に加わった築山も、先日の参観日に見たら、当初の形からずいぶん変わっていました。これも日頃から園児たちが思い切り遊んでいる証拠だと思っています。この様に思い切り遊ぶことが出来るのも、保護者の皆様の支えがあってのことと思います。(特に日々の洗濯、本当に感謝いたします。)

さて、7月には夕涼み会が行われます。当日は園庭で園児たちが思い切り楽しめる様に、まずは晴れることを皆様で願い、そして私たちも楽しみましょう！

あけぼの会 会長



新入園児保護者より

早くも娘が入園して三ヶ月が経とうとしております。この短い期間ですが一日一日娘の成長を感じています。

登園初日は園の前で顔をグチャグチャにし泣き、園長先生に担がれて教室まで行った娘。そんな状態に不安を感じましたが、今では毎朝笑顔で迎えてくださる園長先生に挨拶し、「いってきまーす」と母に手を振り、お姉さん達やお友達と手を繋いで教室へ行けるようになりました。

通園時に何度も道に座り込んでいたのも、今では覚えた聖歌を披露しながら笑顔で通園しています。

そして帰り道では「今日幼稚園で何した？って聞いて〜♪」と自らリクエストし、おままごとに誘ってもらったこと、みんなで体操をしたことなど嬉しそうに話してくれ母も安心しています。

これから三年間、お友達との関わりを通して優しさや思いやりの気持ちを学んでほしいと思います。

そして私も入園当初の娘の姿や自分の気持ちを忘れず、一緒に成長していきたいと思っていますので先生方、保護者の皆様よろしくお願ひします。



□ マリア祭について □



マリア祭は、花や緑の美しい五月を通してマリア様を敬い祈る信心で、18世紀のイタリアで盛んになったものです。ローマやゲルマンの人々の春の訪れを祝う五月祭が、その起源となっています。

イタリアに住む私の同級生も「うちの子の幼稚園でも、一人一人お花を持って行ったよ。」と話していました。今でも世界で同じように祝われるマリア祭を思うと『カトリック』という言葉のギリシア語の意味である『普遍性』が改めて感じられます。

暁星幼稚園のマリア祭では、神父様からの『祝福』があります。司祭が「神様の祝福がありますように」と言い、参列者の頭に手を置く『按手(あんじゅ)』を受けた人は、ヘブライ語の「確かに」「そうでありますように」という意味の「アーメン」と応えます。

カトリックには、マリア様の像、キリストの十字架、マリア様のメダイなどがありますが、それ自身に何かが宿っているというものではありません。私達が“写真”を見て自分の大切な人を思い出すように、これらは日々の生活の中で神様を想起するためのシンボルなのです。

□ 父のひとこと □

『ありがとう』

「わたしも早生まれだから気持ちはよ〜く分かります。お漏らしなんて全然気にしないでいいわよ〜。」と入園式で園長先生に大きな声でおっしゃっていただきました。

息子は3月26日生まれで、入園式の時①おむつはとれていない、②言葉もカタコトで、果たして幼稚園生活に馴染むことができるのだろうかと気になっていましたが、園長先生のお言葉でとても気持ちが軽くなったことを憶えています。

幼稚園生活が始まって、案の定、息子は一日に3回はお漏らし……。先生方にはお手を煩わせてしまいとても申し訳なく思っていました。2週間ほどで自分でトイレが出来るようになったと知り、成長の速さに驚いております。これも先生・職員の皆様のお蔭と感謝しております。

さらに……。トイレに行けるようになった同じ時期に、どうしても「あ〜と〜」としか発音できなかった「ありがとう」がはっきりと言えるようになったのです。非常に細やかな出来事でしたが、息子は幼稚園でいろいろな体験をして毎日成長しているのだな〜と感心しました一瞬でした。

これから3年、暁星幼稚園で少しずつ成長していく息子の姿をみるのがとても楽しみです。

いっぱい友達つくって、いっぱい遊ぶんだよう〜！



□ 動物村がやって来た！ □

6月11日（木）は、園庭にたくさんの動物達が来てくれました。（この動物村はあけぼの会の会費にて実施しています。）

ずいぶん前から楽しみにしていた子ども達も多かったとか、この日はもちろん大盛り上がりでした。一番人気はポニー。乗りたい子ども達が多く、順番待ちの列は途切れることがありませんでした。

年長さん、ニワトリを頭にのっけてピース、「痛くないよ！」と頼もしい一言。「ひよこがさわやかだった！」との詩的なコメントも年長さん。

水色の瞳が可愛いオウムの前に集まっていたのは年中さん達。手をたたいて音を出すと踊ってくれるそうで、「皆でたたくと踊るね！」と抜群のチームワークを見せてくれました。

ネズミを見て「こわいっ!」、ウサギに青菜をあげたら口に入れてくれて、「食べる！食べる!」と言ったのは、可愛い年少さん達です。

子ども達の笑顔が光る1日でした。



□ 図書室通信 □

今年度も5月から図書の貸し出しが始まりました。園児たちが絵本袋を片手に嬉しそうに図書室にやってくる姿や、真剣に本を選ぶ表情には本当に癒されます。

さて、昨年度の卒園生から寄贈していただきました本の一部が登録されました。

今回は『科学のえほん』7冊、「みかん」「みんなでうどんづくり」「トマトのひみつ」「バナナのはなし」「しんかんせん いま→むかし」「あまいとうもろこしとカタイトウモロコシ」「巣のはなし」です。

幼稚園には5千冊を超える本があります。絵本だけではなく多種多様な本がありますので、保護者の皆さまも是非ご利用ください。

子ども達が沢山の素敵な本と出会えるようにお手伝いできれば幸いです。

